

元気を出そう！ 勇気を出そう！ 頑張っぺ！

Part 10

2011.6.2

須賀川地区会長 渡辺徳之

頑張っていますか！ カラ元気隊長 & 須賀川地区会長の渡辺です！！

5月もあっという間に過ぎてしまいました。依然として原発問題は落ち着かず、会員の皆様におかれましては不安な日々が続いている事と思います。私自身、また我が社においても、売上は予想通り全く伸びず、非常に不安で悩んでいます。しかし、この須賀川地区においては仮設住宅の入居も進み、放射能物質に対抗する動きも出てきて、一歩ずつ復興・地域再生の兆しが見えつつあります。会員の皆様も、それぞれの企業存続がその地域再生の礎となるよう頑張りましょう。

須賀川地区総会の開催！！

5月16日、須賀川地区総会におきましては、多数のご参加を頂きまして、本当にありがとうございました。震災後とは思えない、活気ある、未来ある総会となりました。

福島県中小企業家同友会総会の開催！！

5月18日、県の定時総会が開催されました。今年度のスローガン『全会員が一丸となって大震災を乗り越え、企業の復興と地域再生に邁進しよう！』を決定しました。中同協の鋤柄会長と広浜幹事長から熱いメッセージを頂きました。

福島原発事故に起因した被害について・・・

このたびの原発事故の影響は、県内全域のあらゆる企業に著しい打撃を与えています。今後、どのような形で補償されていくかは、まだ不確定ではありますが、現時点でのそれぞれの企業において被害状況を記録しておいて下さい。

決算書、確定申告書（3年分）

過去2年分と現時点での月別試算表

これまでの売上、受注実績記録

2011年度の製造、売上計画書

事業縮小、休業期間中に関わる勤務表、給与明細表、労務費の根拠になるもの

その他 福島原発事故に関わる支出等の明細、領収書

取引先からの発注、取引停止通知書（内容の分かる物）

口頭での発注、取引停止の場合は文書をもろう事

損害額を算定するための「取引品目」「数量」「金額」「取引先名」「契約書、発注書等」

などを、すぐに提出することが出来るように準備・用意して下さい。

震災の影響が少ない企業	震災からの再生企業会員	まだ被災されている会員
<p>今回の震災を受け、少なからずの影響はあったこととされます。</p> <p>今一度、それぞれの企業での<u>防災マニュアル</u>の見直しを図りましょう。</p> <p>また、このような災害で損なわれるライフラインや物流経路での見直しを図り、<u>想定外のことが起きうる状況を回避</u>できるような対策を練りましょう。</p> <p>このような災害があってもなくても、何といってもキャッシュフローが乏しい企業は弱いものです。今まで以上にキャッシュフロー経営を重視していきましょう。</p>	<p>この震災で、企業活動の根本が揺らいでいる方も少なくないと思います。</p> <p>「何のために…」 「誰のために…」</p> <p>という<u>商売の原点（企業理念）</u>を突き詰める必要があります。</p> <p>そこから、既存事業の強化する部分・既存事業の整理・新規事業の必要性など戦略を練り、中長期計画と直近の計画の整合性を考慮しながら、<u>経営計画（経営指針）</u>を作成しましょう。</p> <p><u>希望的な観測や予想より、現実を厳しく分析し、今後起こり得るマイナス材料を踏まえ、より科学的に戦略を練る事が重要です。</u></p> <p>また、経営計画（売上・利益計画）と資金計画（借入・返済計画）は切り離せないものです。<u>現実的な計画で、バランスが重要です。</u>金融機関・税理・会計士と相談をしながら進めて下さい。</p>	<p><u>まず、生活基盤を整えましょう。</u></p> <p>住宅等に大規模な被害があった方は、行政からの支援を有効に使いましょう。</p> <p>この震災で、企業活動の根本が揺らいでいる方も少なくないと思います。</p> <p>「何のために…」 「誰のために…」</p> <p>という<u>商売の原点（企業理念）</u>を突き詰める必要があります。</p> <p><u>自分がやりたい事（欲求）、得意先・お客様から求められる事（使命感）の両面から、企業継続を考えて下さい。</u></p> <p>今までに金融機関等との付き合いが無く、借入をしなければ企業存続が出来ない会員は、支援融資・制度資金など<u>それぞれの性格が異なる部分があるので、中身を吟味したうえで行動して下さい。</u></p>
<p>我々が置かれている環境は、その経営者・その企業でそれぞれに違うと思います。しかしながら、同じ福島という地に生活をする仲間として、この大震災で同じく被災した者として、<u>『助け合い・支え合いの輪』</u>をもっと拡げて行きましょう。助けられる力のある方は、今現在置かれている環境から、<u>少しでも視野を拡げて下さい。</u>自分がそうであれば、社員やその家族、近所へ支援の手を…<u>自社や、地域がそうであれば、仲間の企業や隣の地区を…助け合いの輪を拡げれば拡げるほど、地域再生の近道となるはずです。</u></p> <p>困っている方や困っている企業は、困っている事・悩んでいる事を声に出して下さい。必ずや、助けの手を、助かる術を仲間が提供してくれるはずです。</p> <p><u>地域で回す『お金』や『仕事』が無くなってしまうと、その地域で生活する『ヒト』そのものが無くなってしまいます。</u>地域を守るため、地域を創るために、今、志を同じく持ち、同じ正しい理念の下、<u>『助け愛・支え愛の同友の輪』</u>を拡げて行きましょう。</p>		

大きく変わる…だから大変なのです。

大きく変わるのではなく、これを機に我々の手で、大きく変えていきましょう！！